

# Unified Web and E-Mail Interaction Manager 4.2(4) および 4.2(5) のアップグレードがライセンスのエラーが原因で失敗する

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[エラー : I18N\\_EGPL\\_LICENSE-INVALID\\_LICENSE\\_KEY](#)

[解決策](#)

[ソリューション 1 - CIM 4.2\(4\)](#)

[ソリューション 2 - CIM 4.2\(5\)](#)

[エラー : アプリケーション ライセンスはシステムにログインにあなたのために現在利用できません](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Unified Web および E メール 相互対話 マネージャバージョン 4.2(4)/4.2(5) アップグレードはこのライセンス エラーが原因で失敗します:

I18N\_EGPL\_LICENSE-INVALID\_LICENSE\_KEY

この資料に問題を解決する方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

Cisco は [Cisco Unified Web および E メール 相互対話 マネージャのインストール](#) のナレッジがあることを推奨します。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified Web および E メール 相互対話 マネージャバージョン 4.2(4) および 4.2(5) に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## エラー： I18N\_EGPL\_LICENSE-INVALID\_LICENSE\_KEY

開始するべき Cisco 相互対話マネージャ サービス失敗およびログファイルはこのエラーを示します：

```
I18N_EGPL_LICENSE-INVALID_LICENSE_KEY
```

このエラーは新しいライセンス ファイルがライセンス ジェネレーターで手に入れられ、4.2(4) に加えられるときで 4.2(4) 発生します。4.2(5) では、これは地域設定が米国に行われない場合発生します。

この問題は文書化されています 不具合です: Cisco バグ ID [CSCsv80688](#) ( [登録ユーザのみ](#) )。

## 解決策

### ソリューション 1 - CIM 4.2(4)

注: Cisco Unified Web および E メール 相互対話マネージャ ( EIM \ WIM ) 4.2(4) リリースのための Engineering Special ( ES ) は [ソフトウェアダウンロード](#) ( [登録ユーザのみ](#) ) で掲示されます。このプロセスを始める前に Cisco 相互対話マネージャが 4.2(4) ES13 インストールされていたことを確認して下さい。

Cisco Unified Web および E メール 相互対話マネージャに関しては 4.2(4) は、これらのステップを完了します：

1. すべてのサーバの Cisco 相互対話マネージャ サービスを停止して下さい。
2. 安全な場所にビン、構成およびライブラリディレクトリをバックアップして下さい。
3. ビン、構成およびライブラリディレクトリを取り替えて下さい。現在のビン、構成取り替えるためにおよびライブラリディレクトリはファイルサーバの eService フォルダに、ファイルサーバディレクトリのコンテンツをコピーします。eService フォルダは EIM \ WIM がインストールされているディレクトリにあります ( <CIM\_INSTALL\_DIR >/eService )。
4. ビン\IPCC では `\アップグレード\upgradeLicenses.bat` ファイルはこの例、INSTALL\_DIR  
JAVA\_VM\_HOME の適切な値を設定しました:SET INSTALL\_DIR=D:\CIM\eService  
SET JAVA\_VM\_HOME=C:\BEA\JDK142\_11
5. DOSのコマンドプロンプトによって `upgradeLicenses.bat` を実行して下さい。注  
: `upgradeLicenses.bat` を実行する前に、システムが開始しなかったライセンスファイルが  
に < CIM\_INSTALL\_DIR >/config/license ディレクトリあることを確認して下さい。
6. すべてのサーバの Cisco 相互対話マネージャを開始して下さい。
7. ブラウザキャッシュを消去して下さい。

## [ソリューション 2 - CIM 4.2\(5\)](#)

注: Cisco Unified Web および E メール 相互対話マネージャ 4.2(5) リリースのための Engineering Special ( ES ) は [ソフトウェアダウンロード \( 登録ユーザのみ \)](#) で掲示されます。この ES を適用する前に Cisco 相互対話マネージャ 4.2(5) か 4.2(5)a がインストールされているようにして下さい。

1. ローカル一時フォルダに 4.2.5\_ES1 のコンテンツをコピーして下さい。
2. Cisco 相互対話 管理用アプリケーションの Ciscoサービスを停止し、サーバを保守します。
3. 安全な場所にビン、構成およびライブラリディレクトリをバックアップして下さい。これらのディレクトリは EIM \WIM がインストールされているディレクトリにあります ( <CIM\_INSTALL\_DIR > )。
4. *CIMInst.exe* を実行し、インストーラのステップに従って下さい。
5. Cisco 相互対話マネージャ サービスおよびアプリケーションサーバの Ciscoサービスを開始して下さい。

## [エラー : アプリケーション ライセンスはシステムにログインにあなたのために現在利用できません](#)

EIM サーバにログインを試みるときのこのエラーメッセージを受け取ります:

```
No application licenses are currently
available for you to log in to the system.
Try again later or contact your system administrator
```

### [解決策](#)

回避策はすべての EIM サービス 12/12/9999and 再始動へ license.properties ファイルの有効期限値を変更することです。

## [関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)